

第3学年	教科名	使用教科書	光村図書 国語3	担当教員	三宅 由祐
------	-----	-------	----------	------	-------

付けたい 資質・能力	豊かな自己表現力	評価	評価の観点	評価の方法
		知識・技能	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識及び技能を身につけ、様々な場面で活用する力を取得しているかを評価する。	・定期テスト ・小テスト
		思考・判断 ・表現	言語を通して正確に理解したり適切に表現する力や、言語をてがかりとしながら論理的に思考する力や豊かに想像する力がついているかを評価する。	・定期テスト ・レポートや新聞作成といった、「学習した事項を活用して取り組む」課題
		主体的に学習に取り組む態度	授業の課題や目標を達成するために自分が工夫して取り組んだことや意識したことを振り返ることができるかや、学習によって得た新たな見解や自身の変容について捉えることができるかを評価する。	・振り返りシートの記述 ・課題への取組

【授業の進め方(授業のポイント)】 物語文や論説文、古文の読み取りを通して様々な人々の経験や考え方に触れ、時に寄り添い、時に批判をしながら、自身の「考え方」を形にしていきます。 授業の中で触れる漢字や文法、ことわざなどを身につけることは、自身の「考え方」をより豊かに、正確に表現するために必要なものです。「ただ暗記して終わるもの」ではなく、「日頃から使いこなすもの」として身につけていきましょう。 国語科は「正解が一つとは限らない教科」です。それだけに、「自分の考え方を表現する力＝豊かな自己表現力」が求められる教科です。この1年間で、この「豊かな自己表現力」を身につけてほしいと思います。	【家庭学習について】 ・教科書を読んで意味が分からなかった語句の意味調べをしておくだけでも、【学習目標】の(1)の達成に繋がります。 ・本や新聞などの文章を読んで様々な人の考え方に触れ、それについて思いを巡らせることが(2)の達成に繋がります。ぜひたくさんさんの文章に触れてください。 ・模試や受験では、「初めて見る文章」を読んで、問題に取り組むことになるので、なるべく色々なジャンルの文章を読み、たくさんさんの問題を解いていくことが大切です。
---	--

1学期		2学期		3学期	
1 深まる学びへ	握手 学びて時に之を習ふー「論語」から熟語の読み方	4 状況の中で	挨拶ー原爆の写真によせて 故郷 慣用句・ことわざ・故事成語	7 価値を生み出す	誰かの代わりに 情報を読み取って文章を書こう
2 視野を広げて	作られた「物語」を超えて 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	5 自らの考えを	人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 初恋	8 未来へ向かって	暖かいスープ わたしを束ねないで
3 言葉とともに	俳句の可能性 俳句を味わう 和語・漢語・外来語	6 いにしえの心を受け継ぐ	古今和歌集 仮名序 君待つと一万葉・古今・新古今 夏草ー「おくのほそ道」から		

第3学年	教科名	使用教科書	「中学生の歴史」「中学生の公民」(ともに帝国書院)	担当教員	佐飛 紀子・佐々木 啓輔
------	-----	-------	---------------------------	------	--------------

付けたい 資質・能力	社会参画力	評価	評価の観点	評価の方法
【身に付く力】 ・他者との対話、諸資料と向き合うことで、当たり前と思っていることを問い直したり、捉え直す。 ・社会的事象に対して抱いた課題を、自分の力で批判的に解釈・評価する。 ・時間をかけて深く考える中で、自分の考えを深めて、自分の将来を見据えて考え続けていく。 【学習目標】 ・社会参画するための力の基礎を身に付ける。 →これからの社会の創り手として、社会の中で活躍・貢献する。 ・よりよい社会を作るために主体的に社会と関わること。 →社会のことがらを自分事として捉える。		知識・技能	○社会的事象について(～は～である)理解し、その知識を身に付けている。 ・用語・語句や特色・意味など概念に関わる知識 ○社会的事象などについて調べ、まとめる技能をつけている。 ・課題の解決に必要な情報を集める。【収集する】 ・収集した情報を見方・考え方を働かせて読み取る【読み取る】 ・読み取った情報を課題解決に向けてまとめる【まとめる】	・定期テストの 点数 ・ワーク ・パフォーマンス 課題
		思考・判断 ・表現	○【思考力・判断力】に関わって ・社会的事象をとらえ、社会的事象の意味や意義、それぞれの関連について、考察する。 ・社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて構想(複数の立場や意見を踏まえて選択・判断)している。 ○【表現力】に関わって ・適切な資料・内容や表現方法を選び、根拠や理由を明確にして、論理的に説明する。 ・仲間との話し合いで、仲間の主張を踏まえたり、取り入れたりして、立場や根拠を明確にして主張・議論している。→社会参画の視点	・定期テストの 点数 ・パフォーマンス 課題
		主体的に学習に 取り組む態度	○学習単元・課題について主体的に調べ分かつとして課題を意欲的に追究している。 ・単元の「見直し」をもつ ・他者と協働しながら粘り強く考える(試行錯誤しながらでも考えを持つ) ・振り返りて学んだことの意味について考える。 ○よりよい社会を考え、学んだことを生かそうとする。 ・学んだことを、社会生活にどう生かそうとするか。 ・よりよい社会を創るために、自分で「新たな問い」を作る	・振り返り ・パフォーマンス 課題

【授業の進め方(授業のポイント)】 *基本的には、教科書に沿って教科書のページ順に学習する。 *進度の目安は1時間で見開き2ページ進めることを原則とする。 *ノートを書く際に、「疑問に思ったこと」、「学んだこと」など、個人で考えることを積極的にメモを取って大切にすること。 →自分で考える習慣が自分を「深化」させ、振り返りを書くための手立てとなる。	【家庭学習について】 *自主学习ワークと3年間の総復習は、1つずつ○つけますこと。 ・まずは自分の力で取り組むこと。漢字で分からないものは、かな交じりで書く。 ・その後、教科書を見て分からなかったところを解く。→正しい漢字に訂正する。 ・最後に答え合わせをして、教科書を見ても分からなかった部分はチェックしておく。 *学習したことを多面的につなげるため社会的事象について、常に「アンテナ」を高く持つこと。
--	---

1学期		2学期		3学期	
歴史的分野 ・アジアの強国の 光と影 ・二度の世界大戦と 日本 ・現在に続く日本と世界 パフォーマンス課題 現在の社会を作るきっかけとなったできごとは？ 公民的分野 ・現代社会と文化 ・現代社会を とらえる枠組み パフォーマンス課題 効率と公正	・日清戦争以降、日本で起こった産業革命で社会がどのように変化したかまとめる。 ・第一次世界大戦が起こった背景を、世界の動きと日本との関連から考える。 ・第一次世界大戦後にデモクラシーの考えが広まった原因を説明する。 ・世界恐慌に対する各国の対策と対立の深まりがどのように第二次世界大戦へと突き進んだか背景を考える。 ・平和が大切な理由を日本が戦争を拡大した理由と結果から説明する。 ・第二次世界大戦後、日本の改革はどのような目標の下に進められたのか理解する。 ・復興をとげた日本が、国際社会でどのような役割を担うようになったのか、その経緯を理解する。 ・冷戦終結後の日本と世界の変化を、現代と比較しながら考える。 ・現代日本の社会と文化にはどのような特色があるのかを理解する。 ・日本の文化を知り、伝統文化を受け継ぐ必要があるのはなぜか説明する。 ・社会生活において、きまりを守る意義は何かを説明す	・日本国憲法 パフォーマンス課題 公共の福祉と財産権の 対立 ・民主政治 パフォーマンス課題 向日市への提案 模擬裁判 ・市場経済 パフォーマンス課題 悪質商法 企業の企画書	・法に基づく政治が大切な理由を説明する。 ・日本国憲法で基本的な人権が保障されている理由を歴史的背景から説明する。 ・基本的人権を守る政治を実現するために、どのような仕組みがあるのかを理解する。 ・国会・内閣・裁判所が果たしている役割を理解する。 ・日本国憲法が国の統治について規定しているのはなぜか説明する。 ・地方自治や民主政治を発展させるために、わが町への社会参画を行う。 ・市場経済のしくみについて理解する。 ・消費者の一人として、どのような役割や責任を果たすべきか考える。 ・企業はどのような役割や責任を果たすべきなのか考える。 ・日本経済に求められていることは何か説明する。	・財政 ・国際社会 パフォーマンス課題 紛争・戦争、開発援助 ・3年間の総まとめ	・政府がどのような役割を果たしたら、私たちの生活や福祉が向上するのかを説明する。 ・国際社会においてどのような国際協調が必要なのか理解する。 ・誰一人取り残さない国際社会にするために私たちができることは何か明らかにする。 ・地理・歴史・公民を多面的・多角的にとらえ、理解する。

第3学年	数学	使用教科書	未来へひろがる 数学3(啓林館)	担当教員	井崎 茜・川島 淳
------	----	-------	------------------	------	-----------

付けたい 資質・能力	論理的思考力	評価	評価の観点	評価の方法
【身に付く力】 ・筋道立てて考える力、見通しを持つ力 ➡ 計画性 ・単純化、一般化して考える力 ➡ 効率的・合理的な考え方 ・深く考える力 ➡ 思慮深さ・粘り強さ 【学習の目標】 ・数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y=ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。 ・数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。		知識・技能	・基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	定期テスト 小テスト パフォーマンス課題 自己評価表
		思考・判断 ・表現	・数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力を身に付けている。 ・図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に表現する力を身に付けている。 ・関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付けている。 ・標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。	定期テスト パフォーマンス課題 自己評価表
		主体的に学習に 取り組む態度	・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとしている。 ・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 ・多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしている。	パフォーマンス課題 自己評価表 課題への取り組み

【授業の進め方(授業のポイント)】 ・ノートの取り方を工夫する。 ➡ 黒板に書かれたことだけでなく、自分が大切だと思ったことや気づいたことも記述する。 ・分からないことを質問する。 ➡ 授業で分からなかったことは、そのままにせずに必ず質問をして理解する。 ・毎時間の授業の振り返りをする。 ➡ 授業の振り返り(自己評価表に記入)をすることで、授業のポイントだけでなく、今の自分の学習状況やこれからの学習の進め方についても振り返る。	【家庭学習について】 ・問題を解くときは、後で間違えた箇所が分かるように途中式を書く。 ・間違えたり分からなかったりした問題は、自力で解けるようになるまで繰り返し解く。 ・分からない問題は分かるまで周りの人や先生に聞く。
---	--

1学期		2学期		3学期	
1章 式の展開と因数分解	1節 式の展開と因数分解 2節 式の計算と利用	4章 関数 $y=ax^2$	1節 関数とグラフ 2節 関数 $y=ax^2$ の値の変化 3節 いろいろな事象と関数	7章 三平方の定理	1節 直角三角形の3つの辺の関係 2節 三平方の定理の利用
2章 平方根	1節 平方根 2節 根号をふくむ式の計算 3節 平方根の利用	5章 図形と相似	1節 図形と相似 2節 平行線と線分の比 3節 相似な図形の計量 4節 相似の利用	8章 標本調査とデータの活用	1節 標本調査
3章 二次方程式	1節 二次方程式 2節 二次方程式の利用	6章 円の性質	1節 円周角と中心角 2節 円の性質の利用		

第3学年	教科名	使用教科書	未来へひろがるサイエンス3 (啓林館)	担当教員	中村 圭祐・青木 寛也
------	-----	-------	---------------------	------	-------------

付けたい 資質・能力	科学的に探求しようとする力	評価	評価の観点	評価の方法
		知識・技能	見通しをもって観察、実験などを行い、自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解するとともに、探究の過程を通して科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	・定期テスト ・授業中の課題(グループ意見交流、実験レポート、調べ学習など)
		思考・判断・表現	見通しをもって観察、実験などを行い、その結果(や資料)を分析して解釈し、特徴、規則性、関係性を見出して表現している。また科学技術の利用の在り方について、探究の過程を通して科学的に考察して判断している。	・定期テスト ・授業中の課題(グループ意見交流、実験レポート、調べ学習など)
		主体的に学習に取り組む態度	物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。生命や地球に関する事物・現象に進んでかかわり科学的に探究しようとしている。生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとしている。	・ポートフォリオ(学習前と学習後の比較) ・授業の振り返り

【授業の進め方(授業のポイント)】 授業プリントで必要な語句だけを書くのではなく、その語句を理解するための説明を振り返ったときに分かるよう自分の言葉でメモしておくこと。 観察・実験を行ったとき、のちの課題を作成するために必要な情報を実験ノートに記録する習慣をつけること。 分からないことは早く解決して積み残しにしないこと。	【家庭学習について】 ワークや問題演習プリントを中心に各自で取り組む。 授業中の課題を完成させるために必要な情報を時間内に提出できるよう調べておくこと。 これまでにどんな授業を受けてきたのか。授業プリントを見返しながら、どのような流れだったか確認しておくことよい。
---	--

1 学期		2 学期		3 学期	
生命の連続性	1 章 生物のふえ方と成長 2 章 遺伝の規則性と遺伝子 3 章 生物の種類の多様性と進化	運動とエネルギー	4 章 多様なエネルギーとその移り変わり 5 章 エネルギー資源とその利用	宇宙を観る	2 章 太陽と恒星の動き 3 章 月と金星の動きと見え方
運動とエネルギー	1 章 力の合成と分解 2 章 物体の運動 3 章 仕事とエネルギー	化学変化とイオン	1 章 水溶液とイオン 2 章 電池とイオン 3 章 酸・アルカリと塩	自然と人間	1 章 自然界のつり合い 2 章 さまざまな物質の利用と人間 3 章 科学技術の発展 4 章 人間と環境 5 章 持続可能な社会をめざして
		宇宙を観る	1 章 地球から宇宙へ 2 章 太陽と恒星の動き 3 章 月と金星の動きと見え方		

第3学年	教科名	使用教科書	中学生の音楽2・3下・中学生の器楽	担当教員	平田 麻美
------	-----	-------	-------------------	------	-------

付けたい 資質・能力	合唱表現力	評価	評価の観点	評価の方法
【身に付く力】 ・しっかりとした発声で仲間とのびのび歌う力(歌唱・合唱) ・アルトリコーダーの運指を理解して演奏する力(器楽) ・音楽の良さを味わい、魅力を文章で表現する力(鑑賞) ・音符やリズムの組み合わせを工夫する力(創作)		知識・技能	歌唱や合唱、アルトリコーダー、創作などの表現活動では知識と技能を評価し、鑑賞活動では知識を評価します。	実技テスト (歌唱・合唱、アルトリコーダー) 定期テスト
【学習目標】 ・曲想と音楽の構造などとの関わりや音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・創作の技能を身につける。 ・音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。		思考・判断 ・表現	表現活動では、表現を創意工夫しているかについて評価します。鑑賞活動では音楽を形づくっている要素をもとにしながら、音楽の良さや美しさを味わって聴き、曲の魅力などを文章にして評価します。	鑑賞曲の各ワークシート (歌舞伎・ブルタバなど) 合唱表現シート(楽譜) (手紙など合唱曲)
		主体的に学習に 取り組む態度	知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。	振り返りシート (歌唱・合唱、鑑賞、アルトリコーダー、創作)

【授業の進め方(授業のポイント)】 ①歌唱・合唱や器楽では、ある程度の練習を重ねると実技テストを実施します。練習の成果を発揮できるように、練習を大切にしましょう。また、お互いの表現を認め合い、実技テストでのびのびと発表できる雰囲気をつくりましょう。 ②鑑賞では、音楽の構造や雰囲気を感じ取りながらよさや美しさを味わい、曲の魅力を文章で表現しましょう。 ③創作では、四分音符や四分休符、八分休符をつかって簡単なリズム創作をします。テーマに沿って、自分なりの工夫をしましょう。	【家庭学習について】 授業で学んだことを復習して、理解を深めましょう。 様々な音楽に触れる機会を持ちましょう。
--	--

1学期		2学期		3学期	
【歌唱・合唱】	合唱曲「手紙」	【歌唱・合唱】	「あなたへ ～旅立ちに寄せるメッセージ」	【歌唱・合唱】	合唱曲「旅立ちの日に」
【鑑賞】	「花」	【鑑賞】	「歌舞伎」	【鑑賞】	「蛍の光」
【アルトリコーダー】	「ふるさと」	【アルトリコーダー】	「ふるさと」	【アルトリコーダー】	「ブルタバ」
		【創作】	リズム創作		「蛍の光」

第3学年	教科名	使用教科書	美術Ⅰ（光村図書）	担当教員	志賀 景子
------	-----	-------	-----------	------	-------

付けたい 資質・能力	自ら粘り強く取り組む態度	評価	評価の観点	評価の方法
【身に付く力】 ・答えの無い問いに自ら粘り強く取り組む態度 ・多種多様な作者の生き方や表現方法の学びを通し、社会、世界との関わり方の多様性に気付き、自らの生き方を再考する力。	【学習目標】 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことが出来るようにする。 ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。	知識・技能	・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	・定期テスト ・実技（作品の着彩、彫刻など）
		思考・判断 ・表現	・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。 ・対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを主題に生み出し、創造的な構想を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることが出来る。	・レポート、鑑賞ワークシート ・実技（作品のデザイン、構想など）
		主体的に学習に取り組む態度	・美術の創造活動の喜びを味わい、自ら積極的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。	・授業での見取り ・実技（作品の創意工夫や意欲、完成度）

【授業の進め方(授業のポイント)】 ・様々な作品や作家を知る中で、自らの表現へと創意工夫し、繋げていくこと。 ・クラスメイトや先輩の作品を鑑賞する中で、感じ方や考え方は百人百様であり、それぞれに良さがある事を理解すること。 ・レポートについては、自分の「感じたこと・考えたこと」を中心に出来るだけ沢山記入すること。 ・道具の使い方について、正しく理解し、ルールを守り、安全を確保すること。	【家庭学習について】 ・日常的に豊かに感じ取る「心」を持ち、新たな視点や疑問、課題意識を持ってアイデアを構想すること。
---	---

1学期		2学期		3学期	
鑑賞「琳派／クリムト・ミュシャ」	江戸時代代表する琳派の「尾形光琳」「俵屋宗達」「狩野永徳」の作風を鑑賞し、日本美術に影響を受けた「グスタフ・クリムト」「アルフォンス・ミュシャ」への影響について考え、「アール・ヌーヴォー」について理解する。琳派に影響を受けたクリムトやミュシャのように金色を背景に「和の文様」を取り入れ、「平面的」で「大胆」「装飾的」な和のデザインに挑戦する。	鑑賞「岡本太郎／草間彌生」	現代芸術について理解を深め、立体的なオブジェの造形美について鑑賞する。	鑑賞「ピカソ」	ルービックキューブのように表現したい事に併せて平面を再構成する「キュビズム」を学習し、ピカソの伝えたかった想いや発想について理解する。
金扇子 制作		石彫ハンコ（持ち手）	岡本太郎の「太陽の塔」や草間彌生の「南瓜」からインスピレーションを得て、自分の「心の種」をテーマに造形する。	石彫ハンコ（印面）	2学期に制作した持ち手に「篆字」を使ってオリジナルの文字を彫刻し、自分の証明であるハンコを完成させる。

第3学年	保健体育	使用教科書	新しい保健体育	担当教員	荒木 宣
------	------	-------	---------	------	------

付けたい 資質・能力	課題を解決する力	評価	評価の観点	評価の方法
【身に付く力】 基礎的・基本的な体力 自身の課題に挑戦する力 仲間と協力し、教え合う力 健康的な生活を送るための力		知識・技能	種目の基本用語や技術の名称、ルールを理解しているか、健康な生活を送るための知識を習得しているかを評価する。 基本的な技術を習得し、それを実践できるか、また、試合や記録会で身に付けた知識や技能を生かして表現できるかを評価する。	定期テスト 実技テスト 試合の中で技能を発揮できているかどうかを観察
		思考・判断 ・表現	知識や技能を活用し、自身や他者の課題を発見し、自身の考えを深めたり、他者に伝えたりすることができるかを評価する。	定期テスト 学習カード グループ、ペアでの話し合い活動で仲間の課題や出来映えを伝えて いるかを観察
		主体的に学習に 取り組む態度	各領域に積極的かつ自主的に取り組むことを通し、自身の課題の発見や克服、記録の向上に努めている姿や仲間と協力している姿勢を評価する。	授業の観察 学習カード 保健プリントの記述内容

【授業の進め方(授業のポイント)】 ・準備運動や補強運動を通して、怪我の防止や基礎的な筋力や体力の向上に繋げる。 ・基礎的・基本的な技術を習得し、試合や記録会で身に付けた力を発揮できるようにする。 ・話し合い活動や振り返りを通して、自身の考えを深めたり、他者に伝えたりする。	【家庭学習について】 保健分野で学ぶ知識をもとにして、基本的な生活習慣の確立や健康的な生活を送ること。
---	---

1学期		2学期		3学期	
【体育】 体づくり運動 陸上競技 球技	新体力テスト 集団行動 ハードル走 走り幅跳び 走り高跳び ソフトボール	【体育】 器械運動 ダンス 武道 陸上競技 【保健】 5章 健康と環境	マット運動か跳び箱運動の選択 創作ダンス 柔道 長距離走 環境への適応能力、活動に適する環境、 飲料水の衛生的管理、 室内の空気の衛生的管理、 生活に伴う廃棄物の衛生的管理	【体育】 球技 【保健】 6章 健康な生活と疾病の予防③ 【体育理論】 3章 文化としてのスポーツ の意義	サッカー、バスケットボール 感染症の広がり方、感染症の予防、 性感染症の予防、エイズの予防、 医薬品の利用、保健・医療機関の利用、 健康を守る社会の取り組み、 保健の学習を振り返ろう 現代社会におけるスポーツの文化的意義 国際的なスポーツ大会の役割 人々を結びつけるスポーツ

第3学年	保健体育	使用教科書	新しい保健体育	担当教員	伊藤 亜佐子・小曾根 雪乃
------	------	-------	---------	------	---------------

付けたい 資質・能力	課題を解決する力	評価	評価の観点	評価の方法
【身に付く力】 基礎的・基本的な体力 自身の課題に挑戦する力 仲間と協力し、教え合う力 健康的な生活を送るための力	【学習目標】 ・スポーツを通して集団行動でのルールやマナーを身につける。 ・スポーツを通して基礎体力を身につける。 ・基本的な運動技能を身につけ、自らスポーツを楽しむことができる。 ・スポーツの特性に触れる楽しみを見つけ出し、仲間と協力して取り組むことができる。 ・健康や安全について理解し実践していく力を身につける。	知識・技能	種目の基本用語や技術の名称、ルールを理解しているか、健康な生活を送るための知識を習得しているかを評価する。 基本的な技術を習得し、それを実践できるか、また、試合や記録会で身に付けた知識や技能を生かして表現できるかを評価する。	定期テスト 実技テスト 試合の中で技能を発揮できているかどうかを観察
		思考・判断 ・表現	知識や技能を活用し、自身や他者の課題を発見し、自身の考えを深めたり、他者に伝えたりすることができるかを評価する。	定期テスト 学習カード グループ、ペアでの話し合い活動で仲間の課題や出来映えを伝えて いるかを観察
		主体的に学習に 取り組む態度	各領域に積極的かつ自主的に取り組むことを通し、自身の課題の発見や克服、記録の向上に努めている姿や仲間と協力している姿勢を評価する。	授業の観察 学習カード 保健プリントの記述内容

【授業の進め方（授業のポイント）】 ・準備運動や補強運動を通して、怪我の防止や基礎的な筋力や体力の向上に繋げる。 ・基礎的・基本的な技術を習得し、試合や記録会で身に付けた力を発揮できるようにする。 ・話し合い活動や振り返りを通して、自身の考えを深めたり、他者に伝えたりする。	【家庭学習について】 保健分野で学ぶ知識をもとにして、基本的な生活習慣の確立や健康的な生活を送ること。
---	---

1学期		2学期		3学期	
【体育】 体づくり運動 器械運動 球技	新体力テスト 集団行動 マット運動か跳び箱運動の選択 バレーボール	【体育】 陸上競技 武道 陸上競技 ダンス 【保健】 5章 健康と環境	ハードル走 走り幅跳びか走り高跳びの選択 柔道 長距離走 創作ダンス・現代的なリズムのダンス 環境への適応能力、活動に適する環境、 飲料水の衛生的管理、 室内の空気の衛生的管理、 生活に伴う廃棄物の衛生的管理	【体育】 球技 【保健】 6章 健康な生活と疾病の予防③ 【体育理論】 3章 文化としてのスポーツの意義	バスケットボール サッカー 感染症の広がり方、感染症の予防、 性感染症の予防、エイズの予防、 医薬品の利用、保健・医療機関の利用、 健康を守る社会の取り組み、 保健の学習を振り返ろう 現代社会におけるスポーツの文化的意義 国際的なスポーツ大会の役割 人々を結びつけるスポーツ

第3学年	教科名	使用教科書	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology	担当教員	大槻 晃央
------	-----	-------	-------------------------------	------	-------

付けたい 資質・能力	生活における課題解決力	評価	評価の観点	評価の方法
		知識・技能	<知識> コンピュータの構成や機能についての知識を身に付けている。作物、動物及び水産生物の成長、生態についての知識を身に付けている。 <技能> プレゼンテーションソフトウェアにおいて、図式化を意識した資料作りができていくか。プログラミングにおいて、自分の構想した通りの作品ができていくか。	定期テスト 小テスト ソフトウェアの操作 (PowerPoint) HTML (プログラミング)
		思考・判断 ・表現	情報及び生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、技術の見方・考え方に気付くことができる。 →プレゼンテーションソフトでの資料作りにおいて、見やすさを考えたレイアウトが意識できているか。生物育成において、作物の観察・分析ができていくか。	定期テスト 振り返りシート (内容) 豆苗観察レポート (内容)
		主体的に学習に 取り組む態度	進んで情報及び生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 →身の回りにあるネットワークや生物育成の技術を知り、これまでどのような問題を解決してきたかを調べたり、実習に意欲的に参加しているか。	プリントの記述 実習感想シート (内容) 振り返りシート (内容)

【授業の進め方(授業のポイント)】 ○板書を丁寧にしながら、授業内での補足や説明をしっかりとメモしていくこと。 →大事な単語をプリントに記入する。自分の考えを書くスペースは間違っても良いので、そのとき考えたことを記入する。補足として、例え話や由来などを話すので、メモ欄や空いたところにメモをとれば、見返したときにわかりやすいプリントに仕上がる。 ○実習では、使い方の説明や教室モニターの作品例を参考にすること。 →操作の説明プリントをしっかりと見る、教室のモニターで説明したり、作品例を映し出すので、参考にすること。わからないことは積極的に質問すること。 ○振り返りカードをしっかりと記入すること。 →授業で学んだこと、疑問に思ったこと、質問などをしっかりと記入していると、チェックした際に質問にコメントできたり、次の授業で全体に補足をしたり、個別で机間指導するなど、教師側も改善できます。実習のときには、次回の目標や予定を記入しておくこと、どの作業から始めれば良いかがすぐに思い出せて、スムーズに作業に取りかかれる。	【家庭学習について】 ○プリントの単語だけを見るのではなく、説明できるくらい意味も確認しておく。 →プリントに書いた補足や由来のメモが活きる。 ○実習で使ったソフトの使い方、決まりなどは必ず振り返っておくこと。 →定期テストや次回の実習に活かせる。 ○高校の説明会などで利用されているスライドの見やすさや伝わりやすさを意識して見てみる。日常生活の中で、作物を育てる時期を考えようとする。スーパーで売られている野菜や果物の値段などを見る。→学習への理解が深まる。
--	--

1学期		2学期		3学期	
情報 (1)生活や社会を支える情報の技術	①情報通信ネットワークの仕組み ②コンテンツを構想しよう	生物育成 (1)生活や社会を支える生物育成の技術	①動物を育てる技術 ②水産生物を育てる技術 ③成長段階に合わせて適切に育成しよう ④これからの生物育成の技術	情報 (3)計測・制御に関するプログラミングによる問題の解決 技術分野の学習を終えて	①計測・制御システムとは何だろう ②計測・制御システムを構想しよう ③計測・制御システムのプログラムを制作しよう ④学んだことを社会に生かす
生物育成 (1)生活や社会を支える生物育成の技術	③生物育成の技術とは何だろう ④作物の育成環境を調節する技術 ⑤作物の成長を管理する技術	(2)生物育成の技術による問題の解決 (3)社会の発展と生物育成の技術			

第3学年	教科名	使用教科書	新しい技術・家庭 家庭分野（東京書籍）	担当教員	栗栖淳子
------	-----	-------	---------------------	------	------

付けたい 資質・能力	地域や社会と関連した 日常生活の問題解決力	評価	評価の観点	評価の方法
		知識・技能	学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既得の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価する。	定期テスト 実習・作品 ワークシート（内容）
		思考・判断 ・表現	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価する。	定期テスト ワークシート（内容） レポート（内容）
		主体的に学習に 取り組む態度	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。	振り返りシート（内容） レポート（内容）

【授業の進め方（授業のポイント）】 ・説明をしっかりと聞く。 ➡ 黒板に書かれたことだけでなく、自分が大切だと思ったことや気づいたこともメモし、分からないことは質問する。 ・その時間の課題に挑戦する。 ➡ 苦手な活動でも挑戦する。うまくいかなかったことも諦めず、根気強くやってみる。グループでの交流や、協力することも大切にする。 ・授業の振り返りをする。 ➡ 授業の振り返りをする中で、授業のポイントだけでなく今の自分の課題や、これからの学習の進め方についても振り返りをする。	【家庭学習について】 ・学習したことを家庭や地域でも実践し、生活の改善に務める。 ➡ 授業の学習内容について、実践力を高める。 ・時事問題に関心を持ち、社会と自身の生活のつながりを考えていく。 ➡ 授業の学習内容について、考えを深める。
--	---

1学期		2学期		3学期	
4編1章 私たちの消費生活	○消費生活 「計画的な金銭の管理」	5編2章 幼児の生活と家族	○幼児の生活と家族 「幼児の生活とおもちゃ」 「布のおもちゃを作ろう」 「子どもにとっての家族」 「幼児のおやつを作ろう」	4編2章 責任ある消費者になるために	○消費生活と環境 「持続可能な社会」 「環境に配慮した生活」
5編2章 幼児の生活と家族	○幼児の生活と家族 「幼い頃を振り返ろう」 「幼児の心身の成長」 「幼児と触れあおう」	4編1章 私たちの消費生活	○消費生活と環境 「消費者トラブルとその対策」 「消費者の権利と責任」	5編3章 これからの家族と地域	○高齢者の体の特徴 ○高齢者との関わり

第 学年	教科名	使用教科書	NEW CROWN English Series 3	担当教員	松田 淑子・塚本 淳吾
------	-----	-------	----------------------------	------	-------------

付けたい 資質・能力	自己表現力	評価	評価の観点	評価の方法
【身に付く力】 ○相手に伝えるプレゼンテーション力 ○まとまりのある文章を書く力 ○相手の言っている内容を理解し、即興でやりとりをする力 ○まとまりのある文章の概要や要点を理解する力 ○日常生活で簡単な英語を使って会話をする力		知識・技能	○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。	定期テスト 小テスト 音読テスト パフォーマンステスト
		思考・判断 ・表現	○具体的で身近な話題について、学校、地域、他教科等での学習内容等と関連付けながら、互いの考えや気持ちなどを外国語で適切に伝え合っている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	定期テスト パフォーマンステスト
		主体的に学習に 取り組む態度	○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	音読テスト パフォーマンステスト 小テスト ワーク 授業の取り組み

【授業の進め方(授業のポイント)】 ○音読を通して単語・英文を内在化させる。 ○1 minute talkinnngを通して即興で英語を話したり、質問をする。また、相手の思いや考えを聴く。 ○まとまりのある文章を書き、表現し、相手に伝え発信する。 ○協同学習を行う中で共に学び高め合う。 ○教科書の教材を通して世界の言語・文化などを知り、さらに自国の言語や文化を見つめ直す。	【家庭学習について】 ○教科書のQRコードを活用し、単語の発音、音読練習を行う。 ○会話でよく使う表現や文章を覚える。 ○授業で使用したプリントの復習をする。 ○ワーク等を活用し、長文を読む練習をする。 ○学習確認プログラムテストや学力テストを有効に活用する。それぞれのテスト範囲の内容を、ワークを使用して学習を進める。 ○検定試験にチャレンジしてみよう。
---	---

1学期		2学期		3学期	
Lesson 1 Power of Music	音楽作品についての記事を理解する 好きな作品について表現し伝える ○現在完了形 ○現在完了進行形	Lesson 3 The Story of Sadako	平和について考える 佐々木禎子さんの物語より ○現在分詞の形容詞的用法○過去分詞の形容詞的用法	Lesson 6 Imagine to Act Listen 5 Talk 5	偉人達から学び将来を考える 落とし物の問い合わせで相手が伝えたいことを理解する 食事を勧める・承諾する
Listen 1 Talk 1	避難訓練のアナウンスを聞いて理解する おすすめの場所について尋ね、答える	Listen 3 Talk 3 Get Plus	ボイスメッセージから必要な情報を聞く 話題を変え内容を確かめる(スポーツに関する会話) 「～してうれしい」	Lesson 7 For Our Future	外国語を使ってどのような仕事ができるのかを知る 20歳の自分にビデオメッセージを作る ○仮定法
Lesson 2 Languages in India	インドの言語からインドを知る 多様性について学ぶ ○受け身形	Lesson 4 The world's Manga and Anime	世界に誇る日本の文化(アニメ・漫画)を知る ○関係代名詞主格	Listen 6 Talk 6 Get Plus	研究者のスピーチの内容を聞き取る 議論を進める・議論に参加する 「もし私があなたなら・・・だろう」
Listen 2 Talk 2	家族旅行の行き先の相談を理解する 修学旅行の行き先について行きたい理由を説明する	Listen 4 Talk 4 Lesson 5 I Have a Dream	ラジオニュースの全体的な内容を聞き取る 道順を尋ねる・説明する	Project 3 ディスカッションをしよう	ディスカッションをする
Project 1 日本限定アイスクリームを提案する	日本限定アイスクリームを提案する	Project 2 国際交流イベントに出展しよう	キング牧師の行動や夢を学び人権について考える ○関係代名詞目的格 国際交流イベントの出展内容をアピールする		